

端的に言えばこの熟語の意味は「…と折り合いがつく」だが、もっと幅広い意味やニュアンスを理解すると、使いこなせるシーンが増えます。

熟語「come to terms with …」の意味は？

come to terms with～は、～と折り合う、話がまとまる、和解する、甘受する、などの意味になります。

「term」「terms」にはさまざまな意味がありますが、大まかなイメージとしては、何かのまとまりの「枠」を指すと考えられます。期間や、条件、人間関係、専門用語などを、その分野で当てはまる概念や呼び方の枠に収まっているもの、というとらえ方で見てみると、理解しやすくなると思います。

意味その1 「…と折り合いがつく」

一つ目の意味には「…と折り合いがつく」があります。自分にある「terms」（条件、許容範囲）と折り合いがついて、受け入れができるようになる状態、とイメージすると理解しやすいでしょう。

「come to」の部分で「make」として、「make terms with …」でも同じ意味で使うことができます。

We tried to come to terms with them. 私たちは彼らと折り合いをつけようとした。

I came to terms with the union leaders. 私は組合の指導者たちと折り合った。

After all they made terms with each other. 結局彼らはお互いに折り合いがついた。

She has come to terms with her strong feelings. 彼女は自分の強い感情に折り合いを付けた。

意味その2 「…を受け入れる」

二つ目の意味に「…を受け入れる」があります。結果として「折り合う」ことにはなりますが、納得いかないことや困難なことを「受け入れる」イメージです。その他、「甘受する」「従う」「あきらめる」と訳されることもありますよ。

We had to come to terms with the fact. 私たちはその事実を受け入れなければならなかった。

I finally came to terms with mom's absence. ついに私は母がいないことを受け入れた。

I can't come to terms with my father's death. 私は父の死を受け入れることができない。

He must come to terms with his present salary. 彼は今の給料を受け入れなければならない。

英語での *come to terms with sth* の意味

to gradually accept a sad situation, often the death of someone you love:

I think he's still coming to terms with the death of his wife.

熟語「come to terms with …」の言い換えや、似た表現は？

熟語「come to terms with …」の言い換えの表現は、「reach an understanding」や「compromise」があります。それぞれの表現の成り立ちから、各表現のニュアンスや違いを見ていきましょう。

言い換え例：reach an understanding を使った言い換え

まずは「reach an understanding」を使った言い換えです。「reach（着く、達する）」と「understanding」

は「理解」や「知力」のほか「協調、和合」などの意味もあるので、「合意に達する」というイメージから「折り合いがつく」につながります。

I have reached an understanding with them. 私は彼らと折り合いがついた。

We reached an understanding with them about the matter. 私たちはそのことで彼らと合意に至った。

Hideyoshi reached an understanding with Muneharu about cease-fire.

ヒデヨシはムネハルと停戦について合意した。

言い換え例：compromise を使った言い換え

次は「compromise」を使った言い換えです。もとの単語の意味は「妥協する」「歩み寄る」で、「折り合いがつく」という意味合いで使うことができます。また、「妥協する」から「本意ではない」という意味合いにつながり「(名誉・評判・信用などを) 危うくする」という意味もありますよ。

動詞としての「compromise」は、自動詞としても他動詞としても使えるので、うしろに目的語をおく場合もおかない場合もどちらもあります。

We have to compromise somewhere. 私たちはどこかで折り合いをつけなければならない。

You shouldn't compromise easily. あなたは簡単に妥協すべきではない。

I will not compromise my honour. 私は名誉を危うくしようとはしない。(李下に冠を正さず、瓜田に履を納れず)

熟語「come to terms with …」を使いこなそう

この記事では熟語「come to terms with …」の意味や使用例、他の表現での言い換えパターンを説明しました。意味においては、結果として「折り合いがついた」ことに注目している場合、「受け入れた」が納得できていないニュアンスを含む場合があります。

言い換えの表現では、やや「折り合いがつく」に近いのが「reach an understanding」、やや「受け入れた」に近いのが「compromise」と考えるといいですね。